

第13回 ゴールドシュミット会議2016 LOC委員会 議事録

(鍵裕之・益田晴恵)

日時 2015年10月10日 10:00~12:00

場所 JAMSTEC 東京事務所

出席者 益田、原田、高橋、大隅、鈴木(淳)、川幡、塚本、山本、平田、
コンベンションリンケージ(永川、茶川)、JTB(田中、山口)

報告

1 プラハでのLOC会議議事録

議事録に基づいて報告された。

- ・Early Registration は600ドル程度とする
- ・学生支援は登録料でサポートする(60人程度日本人の学生を雇用する)

2 第6回拡大LOC会議議事録

議事録に基づいて報告された。

- ・JNTOなどを通じた寄付金の扱いは行わない(手数料が大きい)。
- ・Web ページで企業支援の情報を公開する。
- ・NHKなどの報道との関係を強める。

2 プロモーション

- ・Wiley から学生向けランチョンセミナーの問い合わせがあった。これまでセミナーを行ってきた Elsevier の方針が決まるまでペンディングになっている。出版社の企画をショートコースに組み込む可能性もある(平田さんが Cambridge Publication に対応)。
- ・JAMSTEC の後援手続きが完了した。ブースも出展の予定。
- ・Thermo Scientific と Nu Instruments は今月中に予算が確定する予定らしい。

3 見学旅行

- ・プラハでのアンケートに基づいて調整を行っている(参加費用がやや高い、福島・放射能関係へのネガティブな意見などがあった)。
- ・旅行申し込みのための Web ページの準備が進んでいる(最小、最大催行人数

の両方を載せる)。

- ・スケジュール管理のため、各ツアーに添乗員 or バスガイド or 通訳を一人つける必要がある(JTB からの要望)。

4 ショートコースセミナー

- ・各テーマについて講師の候補を決め、依頼をかけている。
- ・最少開催人数は設定しない。
- ・講師謝金は支払わない(2003年の謝金は10,000円だった)。食事は出す。

審議事項

1 ワークショップ

- ・費用の負担について主催者に理解してもらう必要がある。(LOCは場所の手配はするが、費用は主催者が負担する。参加費を出席者から集めて Cambridge Publication が必要経費をぬいて、主催者に費用を戻す)
- ・大阪の会議は有機地球化学会の主催なので独立して運営する(日本地球化学会共催)。
- ・オーガナイズを主催者側が行うか、LOC側が行うかを明確にする。
- ・ワークショップの申し込みは締切後も柔軟に対応する。

2 バンケット

- ・料理代を抑えたプランの見積もりをとった。
- ・着席スタイルが好ましい。最終的には Cambridge Publication に確認をする。

3 その他

- ・プログラムの編成過程でセッションをマージするなどを行う可能性がある。
- ・日中シンポジウムでは日中7名ずつ研究発表を行った。参加者は40-50人程度。中国からゴールドシュミット 2016 に多くの参加者を呼びかけてもらえる。
- ・韓国地質学会との MOU を結び、韓国からの参加者も呼びかける。
- ・登録申込者の数の時系列データを CP から入手する。

次回 11月21日(土) 10時から JAMSTEC 東京事務所